

多文化共生の

地域づくりについて



柴田三敏

問 平成29年度急激に増加した外国人住民の現状は。

答 平成29年度末の外国人住民数は、571人で前年度と比べ約100人増加した。著しく増加したのがベトナム人、次いでブラジル人となっている。当市における平成29年度末の外国人の在留資格は、永住者が209人、技能実習者が115人、日本人の配偶者等が75人、定住者が49人、特別永住者が34人となっている。

問 外国人向けの住みよい環境を作るための施策は。

答 地域住民とのトラブルの発生を抑止し、少しでも早く日本の生活に馴染んでもらうため、ごみ出しルール、国民健康保険等が記載された、多言語の説明資料を用意し、各窓口で配布している。

モンゴル国・ソングノハイルハン区との友好都市交流について

公式訪問団等、覚書に基づく交流

事業に要した年度別経費の総額と、今年度予定される経費の総額は。

答 平成27年度241万円、平成28年度353万円、平成29年度291万円。今年度の支出予定額は562万円。

問 この交流事業の成果は。

答 中学生の交流について平成28年度から合計26人がモンゴル国での生活を体験した。中学生海外研修報告会での感想を聞き、書物やインターネットでは知ることのできない貴重な経験になったと考える。

また、議会と行政のトップが互いの市を訪問し、信頼関係を構築していることも成果の一つ。その結果、モンゴル国のオリンピックピック柔道ナショナルチームのホストタウンとして、事前合宿の受け入れが順調に進んでいく大きな一因と考えている。



モンゴル国の国際子どもセンター

AEDの屋外設置と救命講習者普及啓発活動について



森下 茂

問 心停止など緊急事態は昼夜を問わずいつ起こるかわかりません。このような事態に対応するためにも24時間使用可能なAEDが必要では。

答 AEDの屋外設置については、今後AED使用の有効性を含めて調査研究していきたい。

問 AEDの取り扱いを含む救命講習の実施回数及び、市職員を含む本市の受講者の数は。

答 平成29年度普通救命講習及び上級講習回数が11回、受講者数計688人であり、市の職員受講者は14人。

問 中学生以上の青少年に対する初級以上の救命講習受講推進について。

答 防災学習による救命、AEDに対する授業を行っている。防災教育を通じて救命講習受講普及になると考える。

市の地域猫対策について

問 ①ボランティアとの協働は。②本市の野良猫の数と※TNRによりさくら猫として対応された猫の割合は。③

平成29年度、へい獣処理された猫の数と処理金額は。④野良猫に対する不妊手術補助拡充の考えは。

答 市として、市民、ボランティア団体と協働し野良猫対策を進めていく。本市の野良猫の数はおよそ1000頭で、TNRによってさくら猫として対応した割合は約2割以下、また平成29年度172件の猫のへい獣処理を行い、54万円の処理金額となっている。

野良猫の不妊手術費の拡充については今後不足が続くようであれば検討する。

問 病気や、けがをした野良猫に対して、市民より相談があった場合の本市の対応は。

答 県の動物保護協会より依頼されている田方獣医師会加入の市内4病院において無償で治療を行っている。

※T(トラップ)N(ニューター)R(リターン)の略。保護し、避妊去勢手術の後、元のいた場所に戻すという意味。



出典 NPOねこだすけ

## ■ 一般質問 ■

## 伊豆の国市の児童虐待

## 防止対策について



二藤 武司

**問** 児童家庭相談窓口の専門職・専任職の配置状況と相談実績を伺います。

**答** 家庭児童相談員が2人と保健師が相談支援しています。他にはメンタル相談員や社会福祉士がケースに応じて連携し相談支援をしています。

実績は平成28年度3050件、平成29年度2589件、平成30年4月から7月まで891件、そのうち虐待児件数は448件でした。

**問** 「子育て支援センター」が果たすべき児童虐待防止対策への役割とその実績を伺います。

**答** 役割として、乳幼児等の健診時に児童虐待のリスクを予見し子育て相談センター、幼児教育課、医療機関と連携し相談や家庭訪問等で児童虐待の防止に努めています。

実績は平成30年8月末現在、「同意済支援プラン」作成件数12件、管理妊婦4人の防止対策がありました。

**問** 「保育所等の利用調整で、被虐待児を優先的に利用させる」等の取り組みで、本市での取り組みと実例を伺います。

**答** 支援法にかかる「支援認定事務等取扱要綱」に基づき、虐待・DVである場合、優先的に保育所等を利用させます。しかし、過去5年間ではありません。

**問** 本市の「要保護児童対策地域協議会」に於いて児童虐待防止対策として、実務者に個別ケースの検討会等の開催状況と実例を伺います。

**答** 平成29年度実績として、年に24回開催しました。実例としては、ある母親にメンタル疾患があり、現状では児童虐待のリスクを予見しましたので、支援が必要と判断し、実務者検討会において情報共有や役割、支援策を決定しました。



## 受動喫煙防止について



井川 弘二郎

**問** 受動喫煙とその弊害はどのようなものでしょうか。

**答** 受動喫煙とは、人が他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされることです。

受動喫煙の弊害は、大人から子どもまで影響があり、大人は肺がん、虚血性心疾患、脳卒中になりやすく、一番恐ろしいのは子どもへの影響です。子どもは乳幼児突然死症候群(SIDS)やぜんそくになりやすくなります。

**問** 飲食店等の受動喫煙防止対策(分煙対策)で国の補助がありますが、とてもハードルが高いと聞いています。市独自の補助は考えていますか。

**答** 国の実施する受動喫煙防止対策助成金があり、喫煙室及び換気装置の設置条件に、喫煙室内に向かう風速、粉じん濃度、必要換気量などの数値的な制限が細かく定められている為ハードルが高いです。当市には受動喫煙防止を目的とした同様の補助金制度はありませんが、店舗リフォーム助成事業に

おいて喫煙室や分煙スペースをつくるといった使い方は補助の対象となります。

**問** 市内の観光施設や公共施設等、多くの人が集まる場所への受動喫煙防止対策(分煙対策)、指導等はどのように考えていますか。

**答** 健康増進法の一部を改正する法律では、受動喫煙の防止については多数のものが利用する施設の管理者に、利用者の受動喫煙の防止のため必要な措置を講ずるよう努めなければならぬことになっています。健康増進法やこれから内容が確定する静岡県受動喫煙防止条例(仮称)の内容に沿うように、市の施設につきましては個々の施設の特徴を考慮し、適正な措置を講ずるようになります。また、民間施設につきましては商工会、観光協会、旅館組合等を通じて周知指導していきます。



## 平成30年第3回(9月)定例会 伊豆の国市議会

平成30年第3回(9月)議会は8月29日から10月2日までの35日間でわれ、条例の改正、一般会計・特別会計等について審査及び審議した。

## 審議結果・賛否一覧表

議案 番号等	議案の名称	審議 結果	井 川 弘 一 郎	青 木 満	高 橋 隆 子	森 下 茂	笹 原 恵 子	鈴 木 俊 治	久 保 武 彦	八 木 基 之	二 藤 武 司	内 田 隆 久	小 澤 五 月 江	梅 原 秀 宣	柴 田 三 敏	三 好 陽 子	田 中 正 男	古 屋 鋭 治	天 野 佐 代 里	
議案 第49号	平成29年度伊豆の国市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議案 第50号	平成29年度伊豆の国市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
議案 第51号	平成29年度伊豆の国市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議案 第52号	平成29年度伊豆の国市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議案 第53号	平成29年度伊豆の国市楠木及び天野揚水場管理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第54号	平成29年度伊豆の国市簡易水道等事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第55号	平成29年度伊豆の国市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議案 第56号	平成29年度伊豆の国市上水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第57号	伊豆の国市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第58号	伊豆の国市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第59号	平成30年度伊豆の国市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議案 第60号	平成30年度伊豆の国市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第61号	平成30年度伊豆の国市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第62号	平成30年度伊豆の国市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第63号	平成30年度伊豆の国市楠木及び天野揚水場管理特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第64号	平成30年度伊豆の国市簡易水道等事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第65号	平成30年度伊豆の国市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第66号	動産の買入れについて(IJF国際柔道連盟公認量)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第67号	新火葬場造成工事その2の請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問 第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 第1号	新ごみ処理施設整備事業の早期推進を求める決議(案)の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 ○印は賛成、×印は反対 ※2 議長(天野佐代里)は、可否同数の裁決以外は採決に加わらない。

## 発議第1号 決議について

新ごみ処理施設整備事業について、議員より決議案が提出されました。本決議文においては、『事業の停滞によって不利益を被るのは市民であり、一刻も早く安全で安心できる新ごみ処理施設を整備することを決議する。』という文言で締めくくられており、議会はこれを全会一致で可決しました。

## TOPIC

## 議長と福祉文教経済委員会委員長が参加 ～伊豆の国市モンゴル国公式訪問団～



7月27日から8月1日までの6日間、天野佐代里議長と小澤五月江福祉文教経済委員会委員長の2人が、伊豆の国市公式訪問団の一員としてモンゴル国ウランバートル市ソングノハイルハン区、ナイラムダム国際子どもセンターなどを訪問しました。

ソングノハイルハン区とは、伊豆の国市と友好都市交流の覚書を平成27年8月に締結しており、市長を団長とする公式訪問団の一員として、議員を代表して参加したもので、ソングノハイルハン区長や区議会議長及び区選出の国会議員等と面会し、意見交換を行いました。

## 平成30年7月豪雨災害被災地へ 義援金を送りました

伊豆の国市議会から義援金として10万円を、伊豆の国市社会福祉協議会を通じて日本赤十字静岡県支部へ寄附しました。

被災された岡山県や広島県を含む西日本の皆様に対し心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご冥福と早期の復興を心からお祈り申し上げます。



## みんな知っている？ 伊豆の国市のこんなところ

表紙の場所は？  
西琳寺の別荘である弥勒堂です。西琳寺は源氏山のふもとにある浄土真宗のお寺で、弘法大師が草庵を結んだことに由来すると伝えられています。

この西琳寺から源氏山の登山口に向かい、山腹の登りに至ると、弥勒堂にたどり着くことができます。

弥勒堂には市指定文化財「弥勒菩薩」が安置されています。表紙の写真は、この弥勒菩薩です。

弥勒堂の扉は通年閉ざされていますが、毎年9月9日は御開帳の日とされおり、この日は地域の方々が弥勒菩薩を拝みに訪れ、境内は活気に溢れます。皆さんも来年はこの貴重な日にぜひ訪れてみてくださいね。

さて、ここまで注釈もなく記事は進みましたが、皆さん、「弘法大師」のことを存知ですか？「草庵」や「弥勒菩薩」など、いろいろ分らない言葉が出てきたかと思えます。興味の湧いた方は、この機会に歴史や仏教学などを調べてみるのも良いかもしれません。

弥勒堂からは仏教以外にも、源氏・平氏の物語に広がることもでき、とても面白いですよ。

## 議会の動き

8月  
10日 議会報告会実行委員会  
22日 議会運営委員会  
22日 議会全員協議会  
29日 議会第3回(9月)定例会開会  
(8月29日～10月2日)

9月  
7日 議会報告会実行委員会  
20日 議会全員協議会(臨時)  
26日 議会報告会実行委員会  
28日 議会全員協議会

10月  
1日 議会運営委員会  
2日 議会第3回(9月)定例会閉会  
3日 議会報告会実行委員会  
5日 議会だより特別委員会  
9日～10日 福祉文教経済委員会行政視察  
12日 議会だより特別委員会  
15日 議会だより特別委員会  
16日～18日 総務観光建設委員会行政視察  
23日 議会全員協議会  
26日 議会報告会  
27日 議会報告会

## 議会だより特別委員会

【委員長】 柴田 三敏  
【副委員長】 青木 満  
【委員】 三好 陽子  
鈴木 俊治  
笹原 恵子  
高橋 隆子

## 次回議会の予定 平成30年第4回(12月)議会

- ・11月28日(水) 議会初日
- ・11月29日(木) 一般質問初日
- ・12月14日(金) 議会最終日

※正式な日程は、定例会前に開かれる議会運営委員会で決定します。